

授業科目	国際ビジネス論				単位	2		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	TO21508J		
開講年次	3・4年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-3 DP2-1 DP3-1			
担当教員	池口 功晃							
授業概要	国際ビジネスとは、国境を越えた企業間の財やサービスの取引を指します。グローバル時代にあつて国際ビジネスはますます重要性を増しています。本授業では、貿易の基礎知識から輸出・輸入の実務、自由貿易協定の締結など種々の国際ビジネスの仕組み、リスクなどの諸問題に関して詳しく説明します。							
学生が達成すべき行動目標	1. 貿易取引の基本的な仕組みや考え方を理解できる。 2. 国際ビジネスの実務や自由貿易協定の動向を理解できる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	50					100	
知識・理解 (DP1-1)	10	10					20	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)	10	10					20	
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	20	20					40	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	10	10					20	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
国際ビジネスに関する新聞や雑誌の経済記事を理解し、説明することができる。				国際ビジネスに関する基本的な知識を身に付けることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	国際ビジネスとは何か。			講義		復習		50

2	貿易取引の種類、規制	講義	復習	50
3	貿易の国際ルール、外国為替の仕組み	講義	復習	50
4	国際決済	講義	復習	50
5	輸入取引の全体像	講義	復習	50
6	輸入取引に関する法律・規制	講義	復習	50
7	契約書と代金決済、輸入申告	講義	復習	50
8	輸出取引の全体像	講義	復習	50
9	輸出取引に関する法律・規制	講義	復習	50
10	契約書と船荷証券の取得、代金決済	講義	復習	50
11	第二次世界大戦後の自由貿易の歩み	講義	復習	50
12	WTO の役割と動向	講義	復習	50
13	FTA,EPA の役割と効果	講義	復習	50
14	日本の通商政策	講義	復習	50
15	総まとめ	講義	復習	50
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	国際経済入門の授業を履修していることが望ましいですが、基本的な知識は授業の中で取り扱っていきます。			
テキスト	毎回、講義レジュメを配付する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	中田一良(2018)『2時間でわかる 図解 貿易新ルール入門』 あさ出版			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	国内外のビジネスに関する基礎知識を習得したい学生、貿易・海外事業を行っている企業・団体に就職を考えている学生は履修することをお勧めします。			
達成度評価に関するコメント	試験、小テストについては授業で指示します。			